

【教室活動のデザインⅦ】

ARCS理論で、授業を魅力的にしよう！

—授業デザイン理論から日本語の授業を再考する—

授業が効果的に進むよう教室活動デザインを十分に考えたのに、学習者が活動に興味を示さず、授業がうまく運ばなかったという経験はないでしょうか。学習者のやる気を引き出すにはどうしたらいいのか。今回は、インストラクショナルデザイン研究の動機付けモデル「ARCS理論」について学びます。ARCSとは注意(Attention)、関連性(Relevance)、自信(Confidence)、満足感(Satisfaction)を表す言葉です。ARCS理論を学んで、自分の授業を振り返り、もっと魅力的なものにすることを目指します。

日時：2015年3月15日(日) 10時～17時

会場：[東京大学駒場キャンパス 21KOMCEE K303 番教室](#)

交通：京王井の頭線 駒場東大前駅から徒歩。

講師：鈴木 克明 氏(熊本大学教授)

コーディネーター：保坂敏子、松下達彦(教師研修委員)

対象：日本語教師で、自分の授業をもっと魅力的なものにしたいと考えている方。授業で学習者の学習意欲を高めたいと考えている方。また、下記の事前課題ができる方。

定員：40名(先着順)

受講料：5,000円/日本語教育学会員4,000円/大学院生3,000円

事前課題：① 主観的かつ総合的に見て「改善してみたい」と思われる授業の教案について「授業設計の点検ワークシート」を使って検討し、メモを記入する。点検した教案と記入したワークシートを持参。

② 次の文献を読んでくる。[文献はこちら](#)(PDFファイルダウンロード)

鈴木克明(2008)「インストラクショナルデザインの基礎とは何か：科学的な教え方へのお誘い」『消防研修』(特集：教育・研修技法)第84号(2008年9月)pp.52-68

内容：予定のため変更することがあります。

10:00-12:00	講義(理論の基礎)
12:00-13:00	昼食休憩
13:00-16:30	ワークショップ(理論の実践)
16:30-17:00	質疑応答, まとめ

2/16
締切

◆申込方法◆

参加申込書を[学会ホームページ](#)からダウンロードして、メール添付またはFAXでお送りください。メール応募の場合、題名は「教室活動のデザイン申込」としてください。参加費は事前振込制ですので、受講決定者にメールにて銀行振込先等をご連絡します。締切は2月16日(月)、ただし、定員になり次第、締切日前でも募集を終了します。

◆注意事項◆

申込書を送っても学会からの受領メールが到着しない場合は書類未着の可能性がございますので、必ずご自身の責任においてご確認ください。事務局対応は平日9～18時です。週末や夜間は翌日以降の対応となります。なお、本募集に関して集めた個人情報本研修の実施以外の目的には使用いたしません。また、応募書類は返却いたしません。

◆申込および問合せ先◆

公益社団法人 日本語教育学会
教師研修委員会事務局
〒101-0065 東京都千代田区
西神田 2-4-1 東方学会新館 2F
TEL : 03-3262-4291
FAX : 03-5216-7552
E-mail : kyoshikenshu@nkg.or.jp

～講師からのメッセージ～ 鈴木克明氏(熊本大学教授)

外国語の学習は多様なアプローチが可能な分野である一方で、多様化する学習者の好みに合わせることは難しく、先生方の工夫のしどころかと思えます。授業設計理論の中でも学習意欲を刺激し、授業の魅力を高めることに特化したARCSモデルを紹介し、先生方の授業を改善するヒントを模索していきます。



【IDポータル】<http://www2.gsis.kumamoto-u.ac.jp/~idportal/>

「教室活動のデザインⅦ」(2015年3月15日)参加申込書

氏名	(漢字) (ローマ字)
所属・職名	所属: 職名:
会員種別	<input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 日本語教育学会会員〔No. 〕 <input type="checkbox"/> 大学院生
住所	〒
電話	<input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 職場 <input type="checkbox"/> 携帯
FAX	<input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 職場 <input type="checkbox"/> なし
E-mail 携帯アドレス不可	※連絡の基本はEメールとなりますので、間違いがないかご確認ください。
<p>1. 受講動機を簡単にお書きください。 ※文字数等は問いませんが応募用紙全体がA4, 1枚に収まるようお願いいたします。</p>	
<p>2-(1). ARCSモデルについて何か聞いたことがありますか?ご自身で応用してみたことがありますか?</p>	
<p>2-(2). 普段の授業を進める上で、学習意欲についてどんなお悩みがありますか?</p>	
<p>3. 日本語教育経験を簡単にお書きください(機関名, 期間, 対象者, 授業科目等)。 ※日本語教育経験年数()年</p>	
<p>4. この研修コースを何で知りましたか。該当するものに☑をつけてください。 <input type="checkbox"/> (1)学会からのメール <input type="checkbox"/> (2)その他からのメール() <input type="checkbox"/> (3)学会ホームページ <input type="checkbox"/> (4)学会からのチラシ <input type="checkbox"/> (5)学会誌『日本語教育』 <input type="checkbox"/> (6)友人・知人 <input type="checkbox"/> (7)大学・日本語学校等機関() <input type="checkbox"/> (8)その他()</p>	
<p>5. 当日研修の様子を記録・広報等の使用目的で写真撮影をいたします。 該当するものに☑をつけてください。→研修当日の撮影を <input type="checkbox"/>承諾する <input type="checkbox"/>承諾しない</p>	

※事前課題のワークシートは次頁にあります。ワークシートは当日プリントアウトして1部ご持参ください。

日本語の授業設計の点検ワークシート（記述式）

氏名： _____

※当日は教案と本ワークシートをプリントアウトして1部ご持参ください。

記載日： _____ 年 _____ 月 _____ 日

視点		記述欄
コース名		
入 口	1 誰に何を教えようとしているか	およその受講者数：()人×()時間/週 ティームティーチング： <input type="checkbox"/>
	2 それを教えている理由は何か (例：カリキュラム全体で果たしている役割は何か)	前提コース： <input type="checkbox"/> ない・ <input type="checkbox"/> ある(コース：) 後続コース： <input type="checkbox"/> ない・ <input type="checkbox"/> ある(コース：)
方 法	3 どうやって教えているか(授業ルーチン含む)	教科書・教材() ※授業ルーチン=毎回の授業でやること、決まりごと
	4 それは何故か	
出 口	5 コース修了の要件は何か	最終試験をやめる可能性： <input type="checkbox"/> やってない・ <input type="checkbox"/> ある・ <input type="checkbox"/> あるかも・ <input type="checkbox"/> まずない・ <input type="checkbox"/> 続けたい
	6 それはコースの目標と合致しているか(その理由含む)	<input type="checkbox"/> 完全に一致している・ <input type="checkbox"/> だいたい一致・ <input type="checkbox"/> 部分的にのみ一致・ <input type="checkbox"/> 一致していない・ <input type="checkbox"/> 不明
続けたい点は何か		
変えたい点は何か		